

令和5年第2回教育委員会会議

- 1 日 時
令和5年2月14日(火)
開会 10時
閉会 10時38分
- 2 場 所
県庁行政庁舎 17階 教育委員会室
- 3 出席者
北野喜樹教育長、新屋長二郎委員、新家久司委員、眞鍋知子委員、高野勝委員、浅蔵一華委員
- 4 説明のため出席した職員
中山隆志教育次長、塩田憲司教育次長、金子俊一教育次長、太田大樹庶務課長、岡橋勇侍教職員課長、北島公之学校指導課長、岩木智子生涯学習課長、辻江冬樹文化財課長、居村吉記保健体育課長
- 5 議案件名及び採決の結果
議案第2号 令和5年第1回石川県議会定例会提出予定案件について（原案可決）
- 6 報告事項
令和4年石川県優良部活動指導者表彰について
- 7 審議の概要
 - ・開会宣告
北野教育長が開会を告げる。
 - ・会議の公開・非公開の決定
議案第2号は議会提出案件のため地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき非公開とすることを全会一致で決定。
 - ・質疑要旨
以下のとおり。

「1 目的」につきましては、学校部活動等において、特に顕著な指導力を発揮することにより、本県教育の振興・発展に寄与した指導者を表彰するものであり、平成13年度から実施しております。学校教育の一環として位置づけられている部活動は、体力、技能の向上はもとより、協調性や責任感、自主性を育むなど、生徒の人間的な成長にも大きな役割を果たすものであります。令和4年は、12名の指導者を表彰することとしております。いずれの方々も、日々の指導の中、生徒との信頼関係をしっかりと深め、全国大会等において顕著な成績に導くなど、各部門で卓越した指導力を発揮されている指導者です。今回の表彰を大きな契機として一層の指導力の向上に励んでいただき、今後益々の活躍を期待しているところです。なお、この表彰式は来週20日に県庁内で行うこととしています。また、次のページには、被表彰者についての実績等を、参考資料として付けさせていただきます。

【質疑】

（高野委員）

2点お聞きします。1点目は、12名のうち、義務教育は2名、他は高校なのですが、中学校には該当する教員は少なかったのでしょうか。また、2点目は、来年度から部活動の地域移行が始まりますが、この表彰はこのまま教職員を対象とするのか、または、見直しをしていくのでしょうか。

（居村保健体育課長）

1点目については、その年その年で変動があるものです。やはり、一般的に、義務教育の学校では、最初に選手の能力の差がそこまでない状態から、指導者の指導によって能力が引き立てられて優秀な成績を収めることもありますから、中学校の被表彰者が多い年もあります。

2点目ですが、ご指摘のとおり大変難しい問題でして、まず、部活動という概念がどのように変化していくのかということも含めて、来年どうなるかは分からないところもありますが、部活動の地域移行を進めるということで考えていますので、ご指摘いただいた点については検討していかなければならないと考えています。

（新屋委員）

3番は会計年度職員とありますが、この方はどういった方でしょうか。

（居村保健体育課長）

部活動指導員です。

（北野教育長）

以降の審議は非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

議案第 2 号 令和 5 年第 1 回石川県議会定例会提出予定案件について（太田庶務課長説明）

太田庶務課長が説明し、採択の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

- ・ 閉会宣言

北野教育長が閉会を告げる。